

STOP・ザ・交通事故

加害者にならないために、被害者にならないために、一人ひとりの意識で事故防止を

一人ひとりの意識で事故防止を



平成22年12月8日の交通事故



平成24年8月19日の交通事故

交通事故は普段生活する上で一番身近な災害です。また、ひとたび事故が起きてしまうと、被害者、加害者だけではなく、まわりの人たちにも大きな影響を与えます。

根室市においても、4月13日に湖南の国道で乗用車が対向車線にはみ出し、軽乗用車と正面衝突、軽乗用車に乗っていた夫婦が亡くなりました。また、8月19日には鳴海公園付近の市道で、乗用車同士が正面衝突し、対向車線をはみ出してきた乗用車を運転していた女性の方が亡くなるなど、今年に入ってから3名もの尊い命が失われています。

悲惨な事故に遭わない、起こさないために、普段から交通ルールをしっかりと守り交通事故の防止に努めましょう。

■交通安全の心がけ

○危険を予測する運転を

見通しの悪い交差点から自動車や自転車がかかるかも、前方の自転車や軽乗用車が急に横断するかもなど、危険を予測した「かもしれない運転」で交通事故を未然に防止しましょう。

○年齢に応じた運転特性の確

高年齢運転者は自動車等の運転のベテランですが、年齢とともに視力や体力、記憶力や



判断力が衰え、運転に必要な情報が取れず、思いも寄らない事故を招くことがあります。

高齢に伴う身体機能の低下を自覚し、走り慣れた道路や、交通量の少ない道路を運転する場合でも、適度な緊張感をもって運転しましょう。

○スピードダウンを

スピードの出し過ぎは、交通事故を起こす危険性があることを認識し、制限速度を遵守するとともに、道路状況、

天候等を考慮し、車間距離を十分にとり安全な速度で運転しましょう。

○シートベルト・チャイルドシート・ヘルメット等の着用を

自動車を運転するときは、運転者、助手席の同乗者のほか、後部座席の同乗者についても必ずシートベルトを着用しましょう。

チャイルドシートは、交通事故から幼児を守ります。幼児を自動車に乗せて運転するときは、必ずチャイルドシートを使用しましょう。

また、バイク(原付自転車を含む)を運転するときは、必ずヘルメットを着用しましょう。

○飲酒運転の根絶を

飲酒運転の根絶は、運転者の自覚がなにより大切です。お酒を飲んだら絶対に自動車等の運転はやめましょう。ま

交通事故発生件数

年	件数(件)	負傷者(人)	死者(人)
平成20年	28	37	1
平成21年	28	35	0
平成22年	27	28	2
平成23年	28	39	1
平成24年	16	19	3

※平成24年8月末現在

た、お店などまわりの人が運転する人にお酒を勧めることや、飲酒した人の自動車等に同乗することもやめましょう。

○ライトの点灯を

ライトの点灯により自ら交通安全の意識を高め、自分の自動車等の存在や位置を歩行者や自転車などに気付いてもらえる効果があります。自動車等を運転するときは、日中もライトを点灯しましょう。

■基本的なルールとマナー

○自動車編

- ・交差点での右折のときは、対向車、右折先の歩行者、自転車に注意しましょう。
- ・また、左折のときには、左折先の歩行者、自転車などの左折巻き込み事故に注意し

ましょう。

- ・運転中の携帯電話の使用は、絶対にやめましょう。
- ・運転中に疲れたときは、無理をせずに休憩を取りましょう。
- ・無理な追い越しや進路変更はしないようにしましょう。
- ・歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な間隔を空け、徐行して走りましょう。

○自転車編

- ・常に歩行者優先を心がけ、自転車は、通行できる標識のある歩道以外では、車道の左側を通行しましょう。
- ・2人乗りや2台以上の並列での運転、傘さしや携帯電話など物を持ったままの片手運転はやめましょう。
- ・横断歩道を渡るときは、自

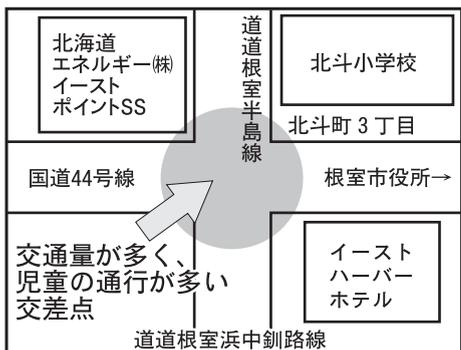
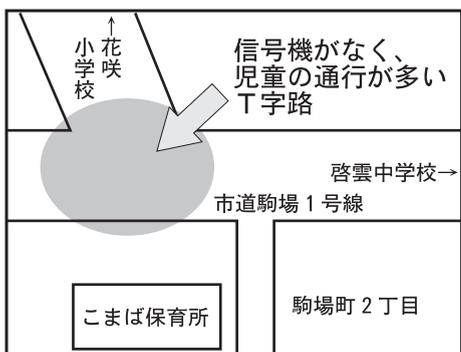
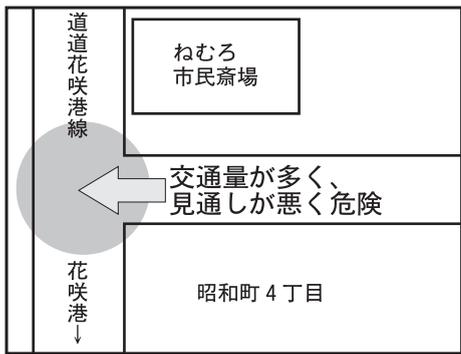
転車から降りて渡りましょう。

- ・交差点や一時停止の標識があるときは、必ず止まり、左右の安全を確認しましょう。
- ・夜間は、必ずライトを点灯し、無灯火運転はやめましょう。

○歩行者編

- ・必ず歩道を通行し、歩道のないところでは、道路の右側を歩くようにしましょう。
- ・道路を横断するときは、横断歩道を利用して渡りましょう。
- ・横断歩道や踏切などでは、左右の安全を確認してから渡りましょう。
- ・夜間歩行するときは、反射材や自動車等の運転者に見えるやすい明るい色の服装を身に着けましょう。

根室市内のヒヤリ箇所、ここが危険です。



交通課長からのメッセージ



北海道釧路方面根室警察署
交通課長 **大山 敏弘**さん

これからの時期は、エゾシカによる交通事故の増加が懸念されます。エゾシカは不意に飛び出しますので、スピードの出し過ぎに注意してください。

そのほか、日没の時間が早くなってきますので、歩行者や自転車の利用者が、被害に遭う交通事故の増加も懸念されます。自動車を運転する方は、交差点を右左折する際には、横断する歩行者や自転車に十分注意してください。また、歩行者や自転車の利用者についても、左右を十分に確認してから横断するようにしてください。

エゾシカの激突事故が多発

エゾシカの事故は10月から1月、次いで4月に多く発生しており、時間帯は夕方16時から20時、早朝4時から6時に集中しています。エゾシカは群れで行動しており、1頭目が渡り切って安心してしていると、後から2頭3頭と飛び出してきますので、1頭目を見たら、まず減速してください。また、エゾシカの目は、ヘッドライトに反射して光りますので、夜間光を見たらブレーキをかけて減速してください。

エゾシカ事故発生件数

年	件数 (件)
平成20年	54
平成21年	55
平成22年	48
平成23年	80
平成24年	35

※平成24年8月末現在